

平塚市余熱利用施設整備事業 認証評価書の内容

1 事業の概要

事業の名称	平塚市余熱利用施設整備事業
事業の実施者	平塚市
事業の実施区域	平塚市大神3344-4
事業の規模	延べ床面積：2,744m ²

2 環境共生の取組の評価結果

代表指標	取組の評価結果
緑化率	27.1%
エネルギー削減率	BEI 0.61
CO ₂ 削減率	30.0%

個別指標	取組項目数	目標項目数
目標1	4	4
目標2	8	8
目標3	2	2
目標4	5	3

3 環境共生の取組の継続・維持管理方針

本認証評価書に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、適正に継続・維持管理が図られるよう努めるものとする。

また、本事業により整備する施設等を譲渡などにより第三者へ承継する場合、承継する者に対し、本認証評価書に基づく環境共生の取組を可能な限り継続していくよう通知するとともに、速やかに県に対して申し出るものとする。

4 環境共生の取組の実施内容

【目標1】自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
土地	地域の風の流れに配慮した土地利用及び建物配置とする	・周辺の風の流れを妨げないように、卓越風向きに直行する面積が小さくなるよう建物を配置する。
みどり	地域・地区の特性、生態系に配慮した緑地を整備する	・植樹にあたっては、潜在自然植生に配慮しながら、夏の強い日差しを遮る広葉樹を配置する。
	道路との敷地境界に生垣や緑地緩衝帯などを整備する	・道路との敷地境界に緑地緩衝帯となる高木・中木・低木を組み合わせた立体的な緑地を整備する。
	緑とふれあえる場を整備する	・積極的な緑化や、開かれた歩道空間などにより、利用者が緑とふれあえる場を提供する。

【目標2】環境への負荷を低減する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
水	雨水の地下浸透能力を強化する	・建物周囲に透水性のあるインターロッキング舗装を敷設するとともに、雨水浸透ますを設置し、雨水浸透の促進を図る。
	上水道の節水設備を導入する	・節水型水栓、節水型便器の導入により水の省資源化を図る。
エネルギー	省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する	・LED照明を採用し、エネルギー使用量の抑制を図る。
	太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを利用する	・隣接する環境事業センターの余熱を利用する。
資源循環	耐久性や更新性の向上など、建築物の長寿命化に係る措置を講じる	・建築基準法に定められた基準値の1.25倍の耐震性を確保し、建築物の長寿命化を図る。
	設備の維持管理対策・更新性等の措置を講じる	・EPSの採用などにより、構造部材を傷めることなく電気配線や通信配線の更新・修繕を可能とする。
	建築物、外構等にリサイクル材を使用する	・内装にビニル床やタイルなどのリサイクル材を使用する。
	建築物を木造化・木質化する	・フローリングや木製家具を導入することで、木材の使用を推進する。

【目標3】環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
交通	施設の整備規模に応じた駐・停車、駐輪スペースを確保する	・利用者のための適切な量の駐車、駐輪スペースを確保する。
	自転車・歩行者空間を整備する	・自動車交通と分離された自転車及び歩行者空間を整備する。

【目標4】 地域アメニティを創出する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
地域アメニティ	地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする	・敷地周囲に緑地帯を設け、隣地の緑地とつなげることで、周辺環境との視覚的な連続感を創出する。
	地域に開かれたコミュニティスペースやサービス拠点などを整備する	・地域に開かれた施設として、健康増進室やトレーニング室などを整備する。
	利用者が安心して過ごせるよう、地域の防災・防犯対策に係る取組を実施する	・災害対策として非常用発電機を設置する。
	高齢者、障害者等に配慮した建築物、歩行空間等を整備する	・バリアフリー法の建築物移動円滑化誘導基準に適合した、安全安心に利用できる建物とする。
	利用者が健康・快適に過ごせる環境づくりに係る取組を実施する	・身体のリフレッシュに利用できる浴場を設置する。